

山岡 徹  
YAMAOKA Toru

■ 専門分野

経営学分野・経営管理論、経営組織論

■ 指導可能な研究テーマ

- ・経営組織と外部環境の関係、経営組織における変革と革新に関する定性／定量的研究
- ・経営組織における個人もしくは集団の行動や態度に関する定性／定量的研究
- ・経営組織における構造と意思決定、組織文化に関する定性／定量的研究

■ 過去に指導した学生の修士論文題目

【2009 年度】

「プロ野球監督からみるリーダーシップ -「勝ち続けるチーム」を作る監督力-」

【2010 年度】

「M&A による企業成長のケース分析 -楽天株式会社の成長ケースを中心に-」

【2011 年度】

「急変する外部環境に適応できる現代グローバル企業の組織改革 -GM の組織改革のケースについて-」

【2012 年度】

「組織不祥事の発生メカニズムと対応策 -不二家における組織不祥事の深層および解釈-」

「中国市場における日系自動車メーカーの情報技術マネジメントと人材育成 -天津一汽トヨタと広州トヨタの事例比較研究を通じて-」

【2015 年度】

「企業再生プロセスに関する研究 -マツダ株式会社の事例を中心に-」

「老舗企業における組織慣性と組織変革の研究 -虎屋株式会社を事例にして-」

【2016 年度】

「復興組織における組織間関係の変化 -東日本大震災の復旧期から復興期を事例に-」

「職場における他者からの支援がエンジニアの能力向上に与える影響の研究 -オフィス・ソリューション業界の A 社の事例-」

「エンジニアの組織コミットメントと職務成果に関する定量的分析 -オフィス・ソリューション業界の A 社の事例-」

【2018 年度】

「コミュニケーションの方向性と職務特性モデルに関する研究」

「CSR の組織アイデンティフィケーションへの影響に関する研究」

「ダイナミック・ケイパビリティの影響要因に関する実証研究 -A 社の小集団活動による

事例-」

【2023 年度】

「組織における吸収能力の形成プロセス -吸収能力プロセスにおけるゲートキーパーの行動-」

「変革型リーダーシップが心理的契約のバイオレーションに影響を与えるメカニズムに関する研究」

【2024 年度】

「組織的支援と従業員のエンゲージメント・職務パフォーマンスの構造的関係性について」

「変革型リーダーシップとセルフリーダーシップが従業員の組織市民行動に与える影響 -テレワーク環境に着目して-」

「組織における個人レベルの『両利き』が個人の認知と職務成果に影響を与えるメカニズムに関する研究」

## ■ 修士論文作成のための必読文献リスト

学生の就学状況によって異なります。

経営組織論に関する研究テーマを扱う場合、基本的な専門知識として、以下の文献の内容を理解しておくことが求められます。

- ・スティーブン・P・ロビンズ(2009)『組織行動のマネジメント』ダイヤモンド社.
- ・リチャード・L・ダフト(2002)『組織の経営学』ダイヤモンド社.

## ■ 修士論文作成に向けた履修推奨科目

- 組織マネジメント特論
- 経営戦略特論
- 人的資源管理特論
- グローバル・イノベーション・マネジメント特論
- 国際経営特論
- 定性研究法特論

## ■ 博士課程後期での研究指導実績

【過去に指導した学生の博士論文題目（学位取得年月）】

「資源動員に向けたプロジェクトのブランド構築に関する研究 -現場主導の新規プロジェクトを中心に-」(2016 年 3 月)

「教員組織における教育理念の浸透プロセスに関する研究 -私立中高一貫校における定量及び定性的調査に基づく分析-」(2017 年 9 月)

「ヒューマン・サービス組織における感情労働 -感情労働が心理的契約違反、役割コン

フリクト、役割の曖昧性に及ぼす相互効果に関する定量分析-」(2018 年 3 月)

「研究開発職におけるワーク・ライフ・バランスに関する定量的分析 -職務関与、職務特性および組織コミットメントとの関連性の分析を中心に-」(2022 年 9 月)

#### ■ その他

経営組織を対象とした研究テーマであることが研究指導の前提条件となります。研究指導では、先行研究の体系的なレビュー（英語論文がメイン）と、客観的かつ論理的な調査、分析を重視します。